



世田谷稲門会会報

平成27(2015)年12月20日

第60号

発行人集 世田谷稲門会
吉俊浩 邦信利 秀昭俊
田並口 島子 原内 林 集
横瀬 小寺 兼江 大若 鷺

事務局 神奈川県川崎市中原区新丸子東
3-1100-12 M2209
TEL/FAX 044-433-9202
林 馨 (はやし かおる)

平成28年新春懇親会

「柳内伝統音楽院」の邦楽で厳かに

1月23日(土)午後5時から

青山のアイビーホールにて

平成28年の新春懇親会は表参道・青山のアイビーホールにて開催予定です。

第1部は新春に相応しく、柳内調風氏とご家族で構成される「柳内伝統音楽院」による尺八と琴による邦楽の演奏をご堪能いただけます。

第2部はおいしい料理と美酒、楽しい仲間との歓談に盛り上がりましょう。また、おなじみの福引抽選会も実施予定です。お楽しみに。

会費は8000円です。皆様お誘いあわせの上、是非ご参集ください。

東京メトロ表参道駅B3出口から徒歩5分

講師の紹介

世田谷稲門会として、新春懇親会に初めて「邦楽」の名演奏家の柳内調風氏のファミリーをご好意によりお迎えすることになりました。私が日頃より尊敬する柳内調風氏は6歳より生田流箏曲、8歳より琴古流尺八を学び、他方声楽、指揮法、作曲を学び、多



くの合唱団・合奏団の常任指揮者を務めています。日本伝統音楽を通じて日本文化の理解を深め、国際社会に貢献することを目的に「柳内伝統音楽院」を創設。箏曲・三弦・尺八の演奏家・作曲家として世界を舞台に活躍しています。

1974年のヨーロッパ公演を初めに、各国の文化省や文化庁の招きにより欧米各国で巡演しこれまでに世界40カ国以上で80回以上の公演を行なっています。又、国士舘大学の客員教授などを務め、留学生などの指導をされています。是非日本の伝統文化芸能を身近に優雅に鑑賞して、新春の喜びを味わってほしいものです。出演は柳内調風家元

(尺八・箏) 柳内設(箏・17弦箏) 柳内麻美湖(箏) 柳内麻貴(箏・三弦)の皆さんです。
(副会長・鈴木宏治)

ジャズとダンスを満喫

平成27年納涼会

上野精養軒にて

平成27年8月29日(土)午後5時から上野精養軒にて、納涼会が136名というかつてない参加者で盛大に開催された。



開場前にはレディー・スクラブ・地域サポート部会共催のバザーが



開かれ、有志各位から提供された品物が飛ぶように売れた。売上の全額は恵まれない子供たちの支援に供せられる。

開会となり露木茂副会長の司会。最初に柏良子西北会代表世話人より謝意を表され、続いて横田吉明会長より来賓の方々への御礼。来賓側からは久保田貞雄杉並稲門会会長、三宅茂樹世田谷三田会会長よりご挨拶を頂戴した。

いよいよ開宴。参加者最長老の前原祖彦さんより元気に乾杯の発声。精養軒特製のフランス料理に舌鼓を打ちなが

らしばし歓談。

納涼会のために編成したスペシャルバンド・ニューオルリンズOB、OGのメンバーによる昔懐かしいデキシランドジャズ演奏が続く。そこへシャンソン歌手花田玲子会員も加わり、ピアノの弾き語り。そして庄巻はアームストロングの「聖者の行進」のジャズ演奏に合わせて、ほとんど全員の方々が行進に参加し、リズムをとりながら会場狭しと練り歩き、大いに盛り上がった。

夏の夜のひとときを激しくどこか懐かしいジャズ演奏の余韻を残しながら幕を閉じた。
(桃井 清治/記)





故岩上前会長

世田谷稲門会会長

横田 吉明(昭38商)



この会報が皆さまのお手元に届くころは、岩上さんが亡くなられてもう半年も経ちます。今でも岩上さんから「今度のゴルフ、横ちゃんの車に乗せてくれよ。風呂上がりの一杯が楽しみだからな。大分運転も上手くなったようだし」と声が掛かってくる気がしています。

色々考えましたが、追悼の言葉には御葬儀での「弔辞」が相応しいと思い、引用させていただきます。

弔辞

「謹んで世田谷稲門会前会長 岩上健一さんのご霊前に申し上げます。

つい先日、ご入院の報に接し、お見舞いに伺い、ご回復に向けご意欲を語られ、頑張っておられるお姿を拝見し、総会の結果などご報告し激励を受けたばかりでしたのに、突然の悲しい知らせに言葉もありません。

岩上健一さんは早稲田大学をこよなく愛され、学生時代は応援部のリーダーとして、また卒業されてからもご多忙な業務の中、応援部監督として常に早稲田スポーツマンの支えとなり、また学生を引っ張ってこられました。

世田谷稲門会の活動にも早くから参画され、昨年勇退されるまで会長として6年間を持ち前のリーダーシップを存分に発揮し、会の発展に心血を注がれました。

この間、平成24年には世田谷稲門会の設立20周年事業を成し遂げられ、記念式典には多数の会員の皆様はもとより早稲田大学・都内多くの稲門会の方々にご参集いただき、盛大な催しとなりました。

会長ご在任中、幅広い層の皆さんに参画していただき、楽しんでもらおうと、ホームページの充実・青年部会の充実・レディースクラブの創設など、これら岩上さんの情熱の賜物です。

私は昨年後任を託されましたがまだ若輩、これから大所高所からのご指導をお願いしておりました矢先のことでご感惑しておりますがただ今の心境です。

岩上さんの目指された世田谷稲門会に少しでも近づけるべく、会員・役員一丸となり努力することがご遺志にかなう道であると信じております。どうか私どもをお見守りください。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。岩上健一さんありがとうございました。

平成27年7月3日
世田谷稲門会会長

横田吉明

前原 祖彦(昭25理工)



去る6月26日早朝、柏さんから岩上さんの訃報を聞き、只々信じられませんでした。確か5月頃退院された折の電話で安心していました。

岩上さんとの出会いは平成10年頃、稲門会ゴルフで同じ組でプレーし、終了後の懇親会の席での自己紹介で、東京日産自動車販売に勤務されたとき、私も日産関係で7年間勤務したこと話合い、帰りは私の車でお宅の近くまで送った等で大変親近感を覚えました。

私が幹事長の時は、世田谷は広範囲なのでブロック制にするための準備を岩上さんにも手伝って頂き、現在の7ブロック制が出来ました。

平成20年に土倉会長の後任の人選に当たり人柄に加え応援部長をされ校友会との接触も多く、更に近隣稲門会との関係から岩上さんを推挙し、会長に就任して頂きました。

その後、会は順調に推移し、会員の増強、準会員制度、レディースクラブ新設等多くの実績を挙げられ、平成26年に会長を辞され横田さんに後任を託されました。暫くして同年7月、岩上さんの慰労と横田さんの激励を兼ねて渋谷円山町で数人と会食しました。その時もお元気でしたのでまさか病魔が潜んでいるとは予想もありませんでした。岩上さんと最後に電話でお話した際に、此の度は家族の皆さんに助けられ有り難かったと感謝しておられたことが脳裏に残っています。

人生には寿命があると申しますが、早すぎるご他界で本当に残念でなりません。諸々の行事の後、岩上さんの元気な発声で校歌を歌う光景が見られなくなりましたが、未永く懐かしんでおります。これからは岩上さんのご遺志を大切にし、会の更なる発展に尽力したいと思っておりますので、あの世からお守りください。

最後に岩上さんとの長いご交誼並びにご功績に衷心よりお礼申し上げます。謹んでご冥福をお祈りいたします。

第4代会長
土倉 享一(昭34政経)



6月26日夜、OB業務を済ませてNHK放送センターから帰宅したところに柏良子顧問から「急逝！」の電話、言葉を失いました。

会長職を引き継いでいただいた平成20年5月から6年間、誰もが楽しめる魅力あふれた稲門会を目指し常に会員増強を掲げて情熱を傾け、尽力されました。

部会・ブロック会の活動が活発になり安定してきたとよろこび、若年層・女性層の勧誘を提唱、持ち前の包容力で着実に実現されました。

後任の現会長選任について私の問いに「自分の一存で決めました。最適と考えていました」と即答。熟慮、決断の強い意志を感じました。

会員から寄せていただいた東日本大震災の義援金の届け先は日赤や校友会ではなくNHK厚生文化事業団と決めて出向き、理事長に渡されました。

た。私がNHK出身だったことを配慮した気配りでした。

会長勇退の翌年、平成27年の会報に寄稿された「ラグビー早明戦・応援実現の由来」に苦心の経過を明かし、「優勝試合終了後、応援部員たちと肩を組み校歌斉唱、いろいろなことこみ上げて涙が溢れ止まらなかった」と語っています。これが遺稿になるとは思いませんでした。

ご家族でさえ「数日後には退院のつもりでした。苦しみはありませんでした」と話されていたほどあまりに突然の別れでした。

もう手を高く挙げてエールを送り続けた雄姿が目には浮かびます。渾身の活躍に心から敬意をささげます。

前幹事長

井澤 貞夫(昭35理工)



岩上健一前会長の訃報に接し、奥様、ご家族の皆様により哀悼の意を表し、前会長のご冥福をお祈りいたします。

一昨年の11月に岩上さんが会長をしておられた時で、体調を崩されて東邦大学大橋病院に入院され、お見舞いに伺いました。岩上さんはかなりお元気になっておられて、明るいお顔でいろいろとお話をしてくださいました。この時の病状は肺に水が溜まり、その治療のためでした。その肺の水除去の際に夢で三途の川の手前まで行って、呼び止められて戻って来たお話をなさっていました。岩上さんはいつものような笑顔でいらつしやいました。その時の岩上さんの明るいお顔が目には浮かびます。

私は世田谷稲門会に入会してから岩上さんと会合などでお話するようになり、ゴルフでは一緒にしたりしました。玉川会のゴルフでは貸し切りバスでいきますので、往復のバスの中で楽しくじつくりとお話できました。

岩上さんはとても穏やかな方で、細かな心遣いをなさる方でした。応援団の団長としておられたからパンカラ風と思われがちですが、そのような感じはない方でした。岩上さんはご自分のブログをなさっていて見させてもらいま

したが、ほのぼのとしたブログでした。

平成23年に岩上さんから電話があり、世田谷稲門会の幹事になってくれと頼まれました。岩上さんに頼まれると弱いので、お引き受けし、その翌年に幹事長を命じられました。

幹事長に就いてから毎月の幹事会の1時間前にお会いして事前協議を行い、また、時々二人だけで食事をしながら意見交換や相談もしました。下北沢の駅前の店で、先輩や幹事の方達との会合で岩上さんと一緒に出来ましたのも懐かしく思い出されます。

6月末に岩上さんが亡くなられたとの報を受け、心底驚きました。ガンだったとのこととで、残念な気持ちはこの上ないものでした。これからは天国から世田谷稲門会を見守ってくださいることでしょう。

柏 良子(昭31政経)



故岩上健一氏、瀬古利彦氏と

「総会が無事におわって良かったね」しみじみつぶやかれた岩上前会長のお声がまだ耳に残っています。総会2日後の6月15日に会のご報告もかねて、ご自宅にお電話させて頂いた時のことです。これがお話しした最後の言葉ならうとは。11日後に奥様からご逝去の報をうかがい耳を疑いました。

あまりにも早すぎます。会長はご退任された後も、何時も何時も稲門会の事を気遣っておられました。これが冒頭のお言葉になったのです。また在任中につくられたファミリア会員制度、レディースクラブ設立は、23区稲門会でも初の試みだとおもいます。多くの功績を残されました。

これからも奥様はファミリア会員として世田谷稲門会としっかり繋がっておられます。私達は岩上様が大好きだった世田谷稲門会をより一層充実させるよう、努めて参りたいと思います。お見守りください。

本当に有難うございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

戦後70年特集企画 終戦前後の早稲田と私

第3回 「軍刀はどうしても外せなかった」 保倉進(昭25法)

第3回目は昭和25年卒の保倉進さんにお話を伺いました。前回ご登場いただいた岩佐さんとは学徒出陣の同期だとのこと。

92歳を迎えられた現在も教育関係の会社を主宰されていて、まさに「生涯現役」そのものの若々しい先輩でした。

「正則」の英語を習う

大正12(1923)年4月、東京生まれの私は深川で育つた下町っ子で、八名川小学校から神田の正則商業学校に進みました。この学校は明治29(1896)年、英和辞典編纂



余念に仕事に余念がない保倉進さん

有名な斎藤秀三郎が神田に創立した正則英語学校の後身で、現在創立119年の正則学園高等学校です。「正則」という名称は、当時の原書解釈を主とする英語学習法は「変則」だとし、これからは聴く・話

す英語教育こそが「正則」だという斎藤先生の考えからきています。ここで日系二世の先生から会話重視の英語、その他の教育を受けました。

専門部入学の年に学徒出陣

昭和18(1943)年、早稲田の専門部法律科入学。「返」して逃げる学生を追いかけ、学生証を取り上げる凄いい信雄教授を思い出します。休講時に友人と入隊前の思い出にと、上野不忍池でボートを漕いでいると「憲兵」に見つかり、戦時中不謹慎だと通行人の前で殴られた苦い思い出があります。「部活」は英会話部(E.S.S.、現W.E.S.S.)と、グライダ―部に入りました。

同年11月末、東京駅集合の出陣学徒は軍用列車で広島宇品に行き、同年12月1日付で陸軍船舶兵としてフィリピン・セブ島で3ヶ月、初年兵教育を受けた後、甲種幹部候補生合格となり、香川県豊浜幹部候補生隊入校のため帰国。途中、敵魚雷の襲撃を受け輸送船は回避蛇行を繰り返し、やつと広島に到着、無事幹部候補生隊入校。昭和19年12月卒業、見習士官

となり小隊長として250トン機帆船3隻を率いて萩・釜山間の物資輸送の任に就きました。昼間航行は危険で、夜間航行のみです。途中、対馬に寄港、釜山からは大豆・コーリヤンを日本へ輸送していました。

敵機グラマンに狙われる

3回目の帰途、グラマンと遭遇、応戦は三八式歩兵銃3丁のみ、部下の恐怖心を除くため「撃て！」と命じて撃たせました。照明弾に続き爆弾投下で海上は真昼のような明るさです。爆弾の水中炸裂でスクリューが曲がり速度は半減、朝鮮海峡を流されるままの状態でした。被弾による部下たちの遭難が一瞬頭をかすめました。重い軍刀など不要と思いましたが、これだけは外せませんでした。

不運にも部下一人が貫通銃創で重体となりましたが応急薬はなく、内地に一刻も早く着くことを祈るのみでした。しかし出血多量で残念ながら息絶えました。やつと山口県の漁港に到着、遺体の処理を丁寧に済ませました。他の2隻はずでに帰港していました。

昭和20年8月15日、玉音放送は雑音で聞き取れず終戦は本部通達で知りました。下関で武装解除、ピストル1丁、弾2発が支給されました。1

発は敵射殺用、もう1発は自決用でした(後返納)。軍刀は私物なので何とか持ち帰り現在手元にあります。帰京途中、将校は狙われるとの噂があり、兵隊服に着替え東京駅に到着、家族のもとに無事帰還しました。

終戦後は通訳のアルバイト

昭和20年10月、専門部復学、更に学部にて在学中、思い出す講義は斎藤金作、江家義男両教授の刑法学説批判、軍服姿で講義する野村平爾教授(労働法)、淡々と講義する和田小次郎教授(法哲)、外岡茂十郎教授(親族法)、卒業論文は大浜信泉教授(会社法)の質問で冷や汗三斗の思い出でした。

教室には陸海軍の軍服姿の学生(小生を含め)が見られ、アルバイトなどの情報交換の場でした。学部2年時から、バイトで日比谷の米軍憲兵隊(MP)で24時間交代の通訳をしていました。戦後復興した東京の裏面を垣間見る経験もしました。若いMPなど激戦未経験者を進駐させたのは、事件を起こさせない為には成功だったと思っています。

大隈庭園にある「平和祈念碑」は元総長西原春夫先生のご尽力で建立され、碑の裏面に文学部一女子学生が詠んだ「往く人の行き果てし校庭に音

絶えて木の葉舞うなり黄に輝きて」の歌が刻まれ、出陣戦没学友三千余名の名簿が収納されています。毎年のホームカミングデーに有志たちは慰霊を続けています。

外資系の会社を次々に

昭和25年、卒業の頃は就職難でした。1年後アメリカ銀行(Bank of America)に入行、のちペプシコーラに移り、日本での販売組織を作りました。8年勤務後、英国貿易商社ドック・ドゥエルのセールス・マネージャー時、独テレフンケン社製小型録音機を警察庁に紹介、受注し、主要県警本部に納入を経験しました。

その後、人事部に移りオフィスとして管理職研修MTP(Management Training Program)に関わり社員研修専門となり定年、のち日経連講師としてODA(政府開発援助)人材開発教育に協力、東南アジアより管理職招聘チーム、現地教育などを二十数回実施しました。現在、世田谷ボランティア協会(JICA)で

外国人に日本語を教えています。英語関係の仕事に就いた原点は「正則」英語と、度胸がついた早稲田「E.S.S.」かと思いきりこしています。

構成・鷲果俊子 写真撮影・榎並俊一

戦後70年特集企画 終戦前後の早稲田と私

第4回「戦争と私たちの時代」

関根 昌一（昭23法）

6月末、弦巻の閑静な住宅街にある関根さんのお宅を訪ねました。

折しも、お嬢様ご一家が同居されることになり、引越してこられたばかりとか。そこで、奥様はじめ、お嬢様ご夫妻も一緒にお話をうかがいました。お嬢様も初めて聞くお話が多かったとのこと。

関根さんが戦争中のお話をされる傍らで「もう戦争は嫌ね」と、そつと呟かれた奥様の言葉が心に残りました。

物心ついた頃から戦争始まる

大正14（1925）年、東京の京橋で生まれましたが、幼時に新宿区、豊島区と移り、小学校は東長崎小学校でした。入学したのは昭和7（1932）年で、前年には満州事変が起こり、旧制中学に入学した12年には日中戦争勃発、そして16年には太平洋戦争に突入しました。

17年には早くも第1回東京大空襲がありました。その頃は早稲田予備校に通っていて校舎の地下室に避難しましたが、近所の中学生が一人犠牲

になり、急に戦争が身近に迫ってくるのを感じました。

学生生活は勤労動員ばかり

18年4月、早稲田大学専門部法律科に入学しましたが、学園生活にも慣れた6月、「学徒戦時動員体制確立要綱」が決定され、学生・生徒を食糧増産、国防施設建設、輸送力増強などに従事させるということになり、埼玉県羽生市近郊の農村に派遣されました。

同年10月には在学中の徴兵延期が廃止され、文科系学生は徴兵検査を受け兵役に就くことになりました。そこで、10月15日に早稲田大学主催の出陣学徒壮行会が旧戸塚球場で行われ、翌16日には早慶壮行野球試合が催されました。試合は10対1で早稲田が勝ちました。

19年には、私たち専門部法律科の学生たちは日本鋼管鶴見造船所に派遣され、3千トンの海防艦や1万トンの貨物船の建造にあたりました。働き盛りの工具は召集され、残った年配熟練工の指導で、徴用工、動員学徒、少年刑務所の服役者、朝鮮半島に徴兵令が

行われる以前に徴用された年配徴用工、カナダ人捕虜など素人集団が作業していました。月給は40円でした。砂浜に鉄板の箱を埋めておき、「空襲だ！」という作業をやめ、砂浜に走って行って飛び込み、警報解除を待つ毎日でした。

作った船はリベット溶接の穴がずれて隙間がでたりして、平時ならば不良とされる箇所もありましたが、とにかく進水式にこぎつけました。

そんな中でも、日比谷公会堂でクラシックコンサートがあり、仲間とよく行きました。空襲警報が鳴ると演奏は中止、地下鉄新橋駅に駆け込むような有様でしたが、私たち動員学生にとってはわずかな安らぎのひとつでした。

「第三乙種」で召集はされず

19年2月に本籍地の茨城県水戸市で徴兵検査を受けました。私はあまり体格の良い方ではなかったため、「丙種かな」と思いましたが、兵員不足で当時新たに追加された「第三乙種」になりました。発令されて顔を上げたら、何と徴兵検査官が中学時代の配属将校だったという思い出もありました。一応、乙種合格なので、戸山ヶ原の実弾射撃場で三八式歩兵銃の射撃訓練をさせられました。重くて1発も当

たりませんでした。

20年になると戦局は沖繩に移り、級友たちも連日「赤紙」の知らせに入隊していきました。3月、学校制度改革により、高等学院修了試験を受け合格、動員先の日本鋼管から早稲田に戻り、4月から法学部に進学しました。

大学ではグライダー部に入りました。第1回に登場された角田さんと同様、どうせ戦争で死ぬなら飛行機で一瞬のうちには死んだ方が楽だろうと考えたからです。グライダーを牽引する動力もなく、人力で引つ張りました。

しかし、久しぶりの学園生活と期待したのもつかの間、6月には、学生たちは、稚内での食糧増産、都内での金融機関業務などに派遣され、私は母校の防護団に入り、建物



関根昌一さんと奥様、お嬢様ご夫妻

の撤去、消火訓練に専念しました。5月25日の夜、大学構内に焼夷弾が落とされ、恩賜記念館、大隈会館、理工学部実験室等、キャンパスの3分の1が消失していたのです。休講が多かったですが、一応、授業は続いていました。先輩に女子学生が二人いて、その一人が後に日本初の女性代議士になった松谷（園田）天光さんです。

敗戦後は治安維持法がなくなり、毎日のように左翼系の講演会が開かれるようになりました。私は自由の中で知的な飢えを満たすように、東大、中央大、明治大など他大学の講義まで聴きに行きました。

美術に打ち込む

卒業後は新聞社に就職しようとしたが果たせず、組合系の出版社に入りました。しかし、すぐにつぶれてしまいました。縁あって大成建設に入社、定年まで勤めました。

その後は大学のエクステンションセンターで、好きだった美術、特に中国古代美術の勉強に打ち込み、20年間、毎年2回くらい中国を訪ねています。また、世田谷美術館友の会の立ち上げにも協力しました。

構成・鷲巣俊子
写真撮影・榎並俊一

稲門祭開催さる (ホームカミングデー)

何と福引で自動車当選!

平成27年10月18日(日)、爽やかな秋空のもと稲門祭が開催された。世田谷稲門会も午前9時には役員および委託業者が勢ぞろいして大隈庭園の定位置に模擬店が設置され、お客様を待ち構えた。天気が良かったのでお客様の出足も順調、キャンパス内の模擬店では大勢のOB・OGたちが思い思いに日本酒やビールなどを楽しむ姿が見られた。大隈庭園内でも各種の催しが行われ、芝生は家族連れなどで埋め尽くされた。呼び込みチラシの効果もあって、準備した焼き鳥1200本、ビール720本、ウーロン茶60本は午後3時には完売した。お疲れ様でした。



また、午後3時40分から福引の抽選が大隈会館で行われ、見事当会けやき会の宮田知枝さんが1等賞の乗用車をゲットされました。おめでとうございます。

(斎藤 正憲/記)

松陰神社

第2回

世田谷ぶらさんぽ

松陰神社は幕末の思想家である吉田松陰を祭神とする神社で、山口県萩市と世田谷区若林に所在する。NHKの大河ドラマ「花燃ゆ」で一躍有名になった松陰の墓所がある。

松陰が安政の大獄で刑死した4年後の文久3年(1863年)、高杉晋作など松陰の門人によって小塚原の回向院から改葬され、明治15年に門下の人々により墓の近くに松陰を祀る神社が創建された。現在の社殿は昭和3年に造営されたもの。社殿脇には松下村塾の模造建物がある。

社務所の手前を左に進むと吉田松陰のほか頼三樹三郎、広沢真臣らの墓所がある。敷地に隣接する形で桂太郎の墓もあるが、あまり知られていないため参拝者は少ない。

アクセスは電車かバスだが、電車で行くのが楽しい。渋谷から田園都市線の三軒茶屋で東急世田谷線に乗り換える。カラフルでおもちゃのようなチンチン電車は乗るだけで楽しい。三つ目の「松陰神社前」で下車する。目の前には駅前商店街が続いている。ほんの数分歩くと左側に「松下村塾学び館」がある。吉田松陰について勉強したい方はここに寄るのも良い。近くには国士館大学や世田谷区役所、豪徳寺などがある。

【アクセス】

東急世田谷線、バスは渋谷から「渋52」「渋21」他多数、五反田、成城学園などからも出ている。いずれも「松陰神社前」で下車。



東急世田谷線



松下村塾学び館



松下村塾模造型



松陰墓所

＝母校の今＝(第30回)

早稲田から WASEDA へ! (その2)

(1) 早稲田が留学生獲得にPRサイトを開設

今年6月2日付日本経済新聞に「早稲田大学が留学生獲得をめざし13ヶ国でPRサイト」という見出しで「WHY WASEDA?」というサイトを開設したという記事が掲載された。記事によるとこのサイトは英語、中国語、タイ語、ロシア語など13ヶ国語で大学や東京の魅力を紹介。さらに画面の文字を極力減らし画像を多用するなど見やすいデザイン。早大の学習環境などを保護者にアピールすることで優秀な外国人学生の獲得につなげるべく発信しているという。また、東京はアジアでも最も国際的な都市であるとの調査結果や、早大は留学生の受け入れと派遣学生数が日本一で、外国人学生が安心して学べる環境であることなどをPRしている。さらに早大や日本の高等教育をよく知らない人でも容易に理解できるように工夫し、世界中の幅広い層を閲覧者とし

て想定し発信していると報じている。はたして、その効果やいかに!

(2) 留学人気 米国より中国 2012年に米中逆転

朝日新聞(2015年10月28日付)紙上に「留学人気 米より中国…12年初の逆転」という見出しで「日本から米国への留学生が減り続け、今年公表されたデータでは、2012年に米国が中国に抜かれ首位の座を失った」と報じられており、少なからず驚いている。

一方、早稲田大学留学センターが今年公表した2014年11月1日現在の統計によれば、早稲田大学に在籍する外国人学生の出身別「国・地域数」は103ヶ国。外国人学生数は4,985名。国籍別では中国が1位(2,498名)を占め、2位が韓国(924名)、3位台湾(385名)、4位アメリカ(168名)、以下、タイ、インドネシア、シンガポール、ドイツ、フランス、ベトナム、マレーシア、イギリス…と続くのだが、この続きは紙面の関係で次号に掲載する予定。

(大内 秀行/記)

ブロック会だより

西北

○西北会担当納涼祭取組

平成 27 年 8 月 17 日 (月) 下北沢・天華にて西北会世話人、サポーターに本部関係者(島田實、戸田昇、篠崎章子の 3 氏)を含めて最終打合せを行った。ここ数か月、寺島さんと熊谷さんが連携して精養軒との交渉、出演者との調整等を経てまとめあげられた企画案をもとに意見交換を行い最終案が決定された。



8 月 24 日(月) 上野精養軒にて寺島、熊谷、桃井の 3 名が現場での最終打合せを実施。タイムスケジュール、テーブル配置、料理、費用見積等詳細について協議、相互確認した。

8 月 29 日(土) 上野精養軒にて、西北会、レディースクラブ共催の納涼会を開催。詳細については本会報 P-1 又は HP の「納涼会」を参照ください。

10 月 22 日(木) 下北沢・湘南倶楽部にて納涼会の慰労会及び今後の予定を確認した。納涼会が大成功裏に終わったこともあり、その後特製の美味しい料理を楽しみながら大いに飲み話題が尽きることはなかった。

(桃井 清治 / 記)

千歳

平成 27 年第 2 回目の企画として、東京スタジアム(味の素スタジアム)見学会と懇親会を 11 月 21 日(土)に開催しました。

午後 2 時 30 分に京王線・飛田給駅に 10 名が集合。スタジアム横の甲州街道には、1964 年の東京オリンピック・マラソン競技の折返し点があり、51 年前のアベベや円谷選手の力走に思いを馳せました。



2019 年ラグビーW杯と 2020 年東京オリンピックの会場となるスタジアムの内部を約 1 時間案内してもらいました。普段見ることのできない選手更衣室や特別観覧室などの他、フィールドの上にも立ってみました。

午後 5 時 30 分から千歳烏山のイタリアンレストラン「アルターナ」にて、横田会長、島田幹事長にもご出席いただき、新入会員 4 名を含む総勢 25 名で懇親会を開催しました。和やかに食事を進めながら、盛況のうちに校歌斉唱にてお開きとなりました。

(戸田 昇 / 記)

玉川

平成 27 年 7 月 12 日(日)に総会を玉川区民会館で開催しました。

本部から鈴木副会長と榎並副幹事長にご出席いただきました。出席者は会員 67 名中 27 名でした。林さんの司会で開会。代表世話人の小林昭一郎さんの挨拶の後、26 年度決算及び活動報告、27 年度活動計画説明など議事が進行し、承認されました。



総会終了後、税理士の板倉京(みやこ)氏を講師に迎え、「税制改正で激変！ 普通の人のための相続」の演題で講演会が行われました。板倉氏は板倉京税理士事務所所長を務められ、講演、執筆活動(著書多数)、テレビ出演等で大変活躍をしておられます。税金と争いから家族を守るためにはどうしたらよいかとの観点より、実例を交えながら大変わかり易いお話をいただきました。身近な問題でもあり、皆さん大変参考になったと好評でした。

引き続き懇親会に入りました。司会が太田に代わり、上野さんの発声で乾杯をし、その後食事と懇談となりました。スピーチは、今年は井山さんと荻野さんをお願いしました。歓談が盛り上がる中、午後 2 時 15 分に散会しました。

(太田 隆 / 記)

けやき

今が見頃の植物観賞と深大寺蕎麦を食す会

けやき会の今年度の秋の懇親会は平成 27 年 10 月 21 日(水)に神代植物公園での季節の植物観賞と、名物の深大寺蕎麦を食す会でした。

当日は幹事会メンバーの井澤、薄井、矢後の 3 名の方々や、今回新たに入会された窪田、信実の 2 名の方

も参加され、18人の参加者となりました。善男善女が揃った為か天気にも恵まれ、まず神代植物園で見頃の薔薇やダリアをボランティアのガイドの方の丁寧で判り易い説明もあり存分に鑑賞する事が出来て楽しい時間をすごしました。

植物観察の後は、皆様お待ちかねの「深大寺蕎麦」です。日本庭園を見ながら和室で「昼の蕎麦コース」を頂きました。“蕎麦には日本酒”とばかりに、昼から顔を赤くして酩酊気味の方もおられました。最寄りの調布駅までマイクロバスでの送迎付きだったので移動も楽で終始和やかな秋の一日となりました。

(斎藤 正憲 / 記)



さくら

平成 27 年 7 月 11 日 (土) に、さくら会の特別企画として参加者 7 名による早稲田大学キャンパスツアーと高田牧舎での昼食を楽しみました。当日は私達の青春時代の名残を留める建物と建替えられた各学部の建物が共存する新しい景観に変貌した早稲田を 1 時間程見学して、これからの時代を担う若者達の教育の場として内外から大いに期待されている事を改めて確信いたしました。昼食は懐かしの高田牧舎にて思い出にふける和気藹々のひと時を楽しみました。

(江原 利次 / 記)



キャロット

キャロット会の忘年会は過去三軒茶屋の寿司店、台湾料理店、中華料理店、割烹料理店、レストラン、居酒屋と色々な所で開催されましたが、今回は 11 月 29 日 (日) 午後 5 時より池尻大橋のイタリアン料理店「Osteria Buono」に於いて開催いたしました。詳細は世田谷稲門会ホームページをご覧ください。

又、キャロット会では来年 (2016 年) 5 月に 懇親会を開催する予定 (日時・場所未定) です。

(富塚 兆弥 / 記)



きぬた

好天に恵まれた 10 月 25 日 (日)、27 年度第 2 回目のきぬた会を開催いたしました。

今回のテーマは「進化する早稲田大学キャンパス見学ツアー」大学では、見学希望者のために団体でのガイドツアーを実施しています。ツアーは月曜から土曜、30 分、60 分、90 分 (基本) のコースが用意されており、現役の学生さんがガイドを務めてくださいます。きぬた会は、60 分のコースをお願いし、政経 2 年の福本大希さんの、汗をかきながらの名ガイドで、大隈講堂、新 3 号館 (政経学部)、新中央図書館、また以前のままのたたずまいを見せる、旧図書館、演劇博物館などを見学、参加者一同懐かしい思い出に浸ることが出来ました。ツアーの後は、キャンパス近くのお蕎麦屋さんで懇親会。各自それぞれの思い出や、近況報告で盛り上がりました。新しい校舎には、コンビニが入り、ラウンジなども充実しており、我々の世代とは、ずいぶん変わっています。まさに進化するキャンパスを目撃することが出来ます。他ブロックの皆様もぜひツアーに参加されてはいかがでしょうか。

キャンパスツアー申し込み先：早稲田大学 広報室 広報課 キャンパスツアー受付 03-5286-1276

(田中 正文 / 記)



部会だより

地域サポート活動

地域サポート活動部会では、皆様からお預かりしている募金の寄付先として予定している児童の自立援助施設を訪問し、実態や問題点を伺ってきました。10 月 6 日 (火) と 26 日 (月) で 2 か所をそれぞれ 5 名で訪問しました。

高校に行けない、あるいは中退した子供達の自立というのは、我々が想像した以上に難しい問題という事を改めて実感し、また職員の方々のご苦勞も良く解りました。募金の寄付先を今年度中には決定する予定で、決まりましたら会報・HP で報告いたします。なお、地域サポート活動部会の定例会議は原則毎月 1 回開催しております。59 号での募金状況に引き続き、6 月 11 日以降の募金状況を以下にご報告いたします。

玉川会:11,000円、麻雀部会:2000円、ゴルフ部会:20,000円、納涼会バザー:111,020円、匿名寄付(延べ4名):35,000円、その他2000円。11月10日時点で募金総額(利息等含)275,017円 (林 馨/記)

レディースクラブ

レディースクラブは、昨年に引き続き今年も、納涼会を西北会と共催で実施しました。

当日は、受付、案内、そして会の盛り上げにとレディースのメンバーが大活躍しました。たいへん華やかで楽しい会になったのでは?と密かに自画自讃しております。「女性が活躍する世田谷稲門会」の面目躍如というところでしょうか。

また、今年初めての試みとして、地域サポート活動部会の協力を得て、会場内でバザーを開催しました。出品する品物が集まるだろうか、売れ残ったらどうしようかなどと不安は尽きませんでした。蓋を開けてみたら大盛況で、ほとんど売りつくすことができました。ご出品いただいた皆様方、お買い上げいただいた皆様方のご協力に深く感謝申し上げます。バザーの収益金は、地域サポート活動部会を通して恵まれない子供たちへの寄付を予定しています。(篠崎 章子/記)

青年

平成27年11月19日(木)に青年部会を代官山にある大変な人気店メキシコ料理『アシエンダ・デル・シエロ』にて開催いたしました。今回は15名という大勢の方に参加いただきました。

まもなく発足から6年経ちますが、同じ早稲田出身同士の気兼ねない会はいつもたいへん盛り上がります。次回は3月頃の予定です。

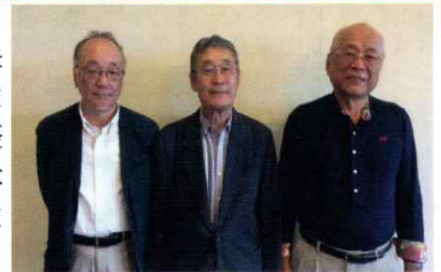
毎回、幹事の好みで趣向を変えた楽しい食事会にしています。新入会員はおおいに歓迎いたしますので、どうぞ気軽にお問い合わせください。(池松 正之/記)



ゴルフ

平成27年10月7日(水)、第84回世田谷稲門会ゴルフコンペは、快晴の富士国際ゴルフ倶楽部にて42名の会員のご参加を得て開催されました。新入会員4名も加わり壮絶なバトルの結果、高橋毅さんが総合優勝されました。グランドシニア優勝は網野久男さん、シニア優勝は青木誠司さんでした。レディース部門は参加者が少なく優勝該当者はありませんでした。

第85回のコンペは12月1日(火)に桜ヶ丘カントリークラブにて開催されました。詳細については世田谷稲門会ホームページをご参照ください。(榎並 俊一/記)



カラオケ

■<月例会>毎月第一土曜日13:00~17:00

BIGECHO ハッピーパーティ下北沢駅前店。

参加費2000円。飲み物2回 注文つまみキャンディ付。

全員集会后3~5室入れ替え(出欠返信で 部屋割り)4時間で各人8~10曲歌い最後に全員で校歌を斉唱。

■第100回7/5(14名)暑気払いマダムチョウ店(写真)

第101回8/1(18名)4室、第102回9/5(14名)3室、第103回10/3(13名)3室。

■足腰が弱くなっても全身を使って大声で好きな曲を歌う健康カラオケサロンの雰囲気です。

■7/5<リクエスト曲抜粋>♪矢立の杉・南国土佐を後にして・ダンディズム・江ノ島ひとり・大空を大地の中で・もしもピアノが弾けたなら・男の港・南国の夜・川・芽生えてそして・夢一夜・愛の終着駅・柳ヶ瀬ブルース・好きだった♪ (倉田 豊/記)



食べ歩き

第65回例会は平成27年9月26日(土)、赤坂のベルギー料理専門店『シェミカワ』にて開催されました。始めに、お亡くなりになられた岩上健一前会長、加藤禮子氏のご冥福をお祈りし黙祷がささげられた。

続いて中井盛久新世話人代表のご挨拶、大先輩の保倉進氏の乾杯の音頭で、有名なベルギーのホワイトビールで乾杯を行った。シェミカワの堀込シェフからご挨拶があり、1964年からベルギーで修業したことや、本場の味を忠実に再現していること、ミシュランの数は仏を上回ることなどベルギー料理についての説明をいただいた。新会員2名の自己紹介、横田吉明会長のご挨拶、スポーツ観戦や稲門祭のご案内などがあつた。和やかな雰囲気の中、フレンチともイタリアンとも違う、素朴で独特なベルギー料理を満喫し、非常に有意義で満足いく例会であつた。



今回の参加者は36名。次回例会は12月3日(木)12:00より『本むら庵 荻窪本店』にて「石臼挽き手打ちそばを楽しむ会」です。
(大山 毅彦/記)

ウォーキング

平成27年9月20日(日)のウォーキングは快晴の中を東京から離れた埼玉県古墳公園、さきたま史跡美術館、水城公園、忍城址行田市郷土博物館を巡る歴史を訪ねての有意義な散策を楽しみました。



10月11日(日)は14名の参加で三軒茶屋午後1時出発の身近な目青不動尊、円泉寺、池尻神社、世田谷公園、駒繫神社では神主さんから、源頼朝に由来する蛇崩れの意味の説明による思わぬ発見に出会い、更に西澄寺を巡ってきました。毎月開催のウォーキングでは健康もさることながら思わぬ発見もあり、終了後は有志による飲み会も楽しんでいます。
(江原 利次/記)

芸術芸能鑑賞

6月に案内した9月10日(木)の「赤坂大歌舞伎」は中村勘九郎・七之助兄弟の見事な演技に酔いしれ、十分堪能出来た(15名参加)。流石に話題を集めた値打ちがあつた。

人気の三越落語会は相変わらず毎回10名以上の参加が継続している。7月14日(火)、9月18日(金)、11月6日(火)には春風亭一朝や柳家花緑、林家正蔵の出演で観客を沸かせた。

音楽関係では、会員の花田玲子さんが出演した9月4日(金)の「中野サンプラザでのスクリーン音楽」はペギー葉山や菅原洋一などの見事な歌唱力に納得した。更に10月23日(金)の「るたんフェスティバル」、11月25日(水)の「三越劇場・ポピュラーハイライト」、12月7日(月)の中野ゼロホール「シャンソンを貴女に」などを案内した。
(鈴木 宏治/記)

俳句

さくら句会は毎月1回予め日下野由季先生から出された兼題と自由句を持ち寄って俳句を楽しんでいます。9月は(蝸)10月は(紅葉)11月は(熱燗)の兼題に挑戦しました。
(江原 利次/記)



一村に日の当たりたる秋の暮れ	沼田宣子	孫曾孫一連托生しょうが抜く	田中 勝
かなかなや命の果つるまで戦後	榎並俊一	蝸や安房に阿羅漢数多あり	暮田忠雄
蝸の混じりて母の電話かな	江原利次	名月やひいきの力士勝ちならず	矢後勝洋
文を書く黄葉明りの窓辺かな	松尾 守	朝日射す林の梢薄紅葉	冨塚兆弥
溪深し紅葉寄りくる露天風呂	家井雪子	退院の荷を置きしばし初紅葉	荒居隆二

スポーツ観戦

東京六大学野球 早大春秋連覇 (最多優勝45度目達成)

平成27年10月31日(土)早慶1回戦を15名が観戦しました。

早大は6回二死満塁から川原が決勝2打点を放ち、小島投手の好投で勝利し連覇に王手をかけた。翌11月1日(日)の第2戦もエース大竹投手が好調で完封(2-0)勝利し連覇を達成し、法大の44度優勝を破り新記録を達成しました。



次の目標とする明治神宮大会も制覇して欲しいと期待される。みんなで強い早稲田を応援しようと燃え上がりました。試合終了後は恒例の懇親会を外苑前の「増田屋」で行い、美酒に酔いながら大いに盛り上がりました。

(岸田 正和 / 記)

麻雀

月例大会(祖師ヶ谷大蔵「天狗」)の結果は次の通りです。

9月6日(日) 優勝:武田一成 準優勝:田島功統 3位:下谷内亮 参加者21名
 10月10日(土) 優勝:松下忠史 準優勝:奥田 隆 3位:江口 工 参加者24名
 11月7日(土) 優勝:阿部信之 準優勝:小倉康弘 3位:郡山弘文 参加者24名
 定例会とは別に目黒稲門会との合同大会を用賀の雀荘「鈴家」で開催しました。

10月24日(土) 優勝:小倉利允(目黒) 準優勝:田島功統(世田谷) 3位:本田道治(目黒) 参加者16名

当部会では月例大会、年二回の目黒稲門会との合同大会の他に、用賀の雀荘「鈴家」で毎週水曜日に懇親麻雀会を催しております。初心者の方、或いは更に腕を磨きたいと思われる方は、気軽にご参加下さい。

世話人が親切にご指導もいたします。

(飯田 保則 / 記)

釣り

平成27年4月26日(日) 剣崎沖利一丸より出漁。乗っ込み真鯛は出ず、早々に大鰻、鯖に変更。今年より釣り部に再入部した海洋写真家の中村氏 40匹の大漁。5月31日(日)(出漁したが真鯛出ず。6月28日(日)、7月26日(日) 川崎つり幸よりキス釣り。千葉盤洲7mの浅場。半日釣りで30匹前後の釣果。同船の名人3時間で192匹と驚くべき釣技は恐れいった。7月より京浜運河夕やけなぎさのハゼ立ちこみ釣り。今年は沸き良く3時間で107匹の好漁。9月27日(日)、10月25日(日)の利一丸よりワラサ釣りに出漁。沖釣り幹事の国澤氏がワラサ3匹のみ、イナダ数匹、鰻、鯖を土産にする。剣崎沖の鰻、鯖は高級魚であり、最高に美味。当部員である名人西尾氏11月6、8日に初島沖で6、8匹の大型のワラサを釣る。小生20日に予定したが、料理中指を切り4針縫い当分釣りは休みとなった。これからの楽しみの落ちハゼ釣りは、江戸川河口のボート釣り、江戸川区の小名木川のリール釣りが楽しみ。今年よりハゼルアー釣りのプラピーも試してみたい。正月の甘露煮用のハゼ釣りに是非参加してみてください。



(柴田 昇 / 記)

将棋・囲碁

(将棋部)

平成27年10月18日(日)、ホームカミングデーに第一回の稲門祭将棋会を8号館4階で行った。

早慶合同の懇親将棋会。優勝今井五段、準優勝齊藤三段、三位慶応田中五段。

(柴田 昇 / 記)

(囲碁部)

囲碁部では、年に三回を目標にしている定例の一泊碁会をより賑やかで楽しくするため他区稲門会との合同を心掛けています。平成27年9月26日(土)は杉並と目黒との合同でした。

最近是比较的若手の新入会員も増えていますが、都内で最も会員数の多い世田谷区にしては少し寂しい状況です。今後も積極的な活動展開を図っていきたくと考えています。

新会員も大歓迎いたしますので、是非ご連絡ください。

(池松 正之 / 記)

写真

写真部会では、例会は「プリント重視の例会」で行なっています。デジタルカメラ時代になって、撮影した画像は自分でプリントして、最終作品に仕上げています。皆さんのプリントレベルは上がっていますが、更に向上したいとの要望があり、今後例会でプリント指導を行なう事にしました。現在一番大事な事は「レベルが最高なプリンター」を使用して最高なプリントレベルの自分の眼で確認する事です。特にA3、A3ノビでプリントし、さらに用紙も変えてプリントして、その仕上がりを知る事がレベルアップに繋がります。一方プリント方法も出来るだけ簡素化して仕上げる事も大事です。写真は色々用途があります。

インクジェットプリンターの進歩より、更に用紙の多様化で、絵画と同じ様に芸術的表現が出来るようになりました。是非一度見学に来られて実感して下さい。

(種谷 鴻成 / 記)

訃報

加藤禮子さんご逝去



故岩上前会長と故加藤禮子さん

当会会員の加藤禮子さん(昭27文)が平成27年7月21日(火)ご逝去されました。享年90歳。

加藤さんは1926年(昭和元年)に大阪に生まれ、神戸女学院、大阪音楽大学、早稲田大学で学び、スケートは6、7才頃から、ジャズやバレエは音大時代、早稲田大学時代に身に付けられ、全てがプロとして世に出られました。その間にはスケートではインターカレッジ2年連続優勝、ホリディオンアイスショーでは東洋で初めてプリンシパル(主役)となり欧米で活躍されました。世田谷稲門会では西北会に所属され、各種活動にも積極的に参加いただきました。昨年6月の西北会総会での故岩上前会長との対談の様子がホームページ上に残されており、ご冥福をお祈りいたします。

世田谷稲門会 会員異動状況 平成27年10月31日現在

〔新入正会員〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	FAX
佐藤 正和	昭57	理工				
庄子 稔	昭57	政経				
丸山 晃	昭38	法				
羽田 彰	昭46	政経				
日野 俊郎	昭47	法				
河北 英夫	昭43	理工				
増田 和美	昭43	文				
遠藤 昌宏	昭41	法				
村瀬 順	昭52	政経				
長谷川 栄一	昭50	理工院				
山田 泰文	昭55	理工				
石田 尚	昭47	法院				
早川 久美子	昭42	教育				
信実 奈保美	昭56	教育				
刀根 秀己	昭47	政経				
吉田 圭二	平9	理工				
窪田 圭一	昭53	法				
高津 真	昭54	理工				
辻田 徹	平01	社会				
山崎 惣三郎	昭45	商				
藤巻 洋介	平12	社会				
山田 榮一	昭35	商				
首藤 信彦	昭50	政経				
山口 稔	昭46	理工				
伊藤 龍一	昭55	法				
板倉 美佳	平17	社会				
宗 慎治	昭41	理工				
原田 律夫	昭34	法				
阿部 聡	昭55	法				
戸井田 克彦	昭55	文				
滝川 博志	昭48	商				
西田 昌子	昭41	教育				

個人情報につき不掲載

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	備考
小松 大祐	平24	公経院				

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	メールアドレス	修正箇所 電話	FAX	その他
井上 文	昭45	理工				

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	理由
岩上 健一	昭36	法	
加藤 栄一	昭22	理工	
日浅 伸廣	昭49	法	
加藤 禮子	昭27	文	
橋本 彰夫	昭23	政経	
小河原 泰	昭41	商	
大野 良弘	昭36	政経	
佐久間 登悟	昭27	商	
久保田 悟	昭62	教育	
岡田 真臣	昭41	政経	

〔入会準会員〕

正会員名	準会員名	理由
庄子 稔	庄子 知子	
國澤 俊一	國澤 百子	

〔退会準会員〕

正会員名	準会員名	理由
若林 克彦	若林 さわ	

事務局からのお願

稲門記念品籤引き抽選ソウルペア旅行券の取り扱いについて

今年度の稲門記念品に付帯の抽選で世田谷稲門会として購入したものに、B賞の「ソウルペア旅行券」が当選しました。この世田谷稲門会で購入したものは、新春懇親会の景品に回すもので、毎年5万円相当の品を購入していただきます。

その趣旨からは、この旅行券も新春懇親会の景品とするのが最も妥当ですが、当選者名を11月末までに決定する必要があるため、対象者を世田谷稲門会幹事・監事・顧問及び今年度模擬店を手伝って頂いた方に限定し、希望者の中から抽選という方式といたしました。なお、本件の譲渡は禁じられておりますので、ご好意という事で当選した方には3万円相当の旅行券を新春懇親会の景品として寄付して頂く事といたしました。

時間・費用の点から、以上のようにいたしましたことと、会員の皆様にご了解いただけておりますようお願い申し上げます。
(事務局長 林 馨)